

## 1年生 O.Kさん

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただきありがとうございました。

本日、岩下先生の模擬授業で一番印象に残っていることは、人工知能の内容です。最近の人工知能の話題といえば、アルファ碁や IBM のワトソン、2045 年のシンギュラリティ問題などがあります。AI は一体何なのかというとパターン認識を基本とした学習技術、機械学習アルゴリズムです。(アルゴリズムは処理を効率化するという意味)。人工知能は何でもできるのかというとそういう訳ではないようです。まず AI が出来ることは、膨大なデータをもとに早くパターン認識することです。さらに教えたことを忠実に処理することができます。次に AI ができないことは、自律的に考えることです。しかし、これは現段階ではできないだけで、今後可能になるかもしれないそうです。私は、この AI がそのうち自律的に考えられるようになるということが怖いことなのではないかと思いました。なぜかというと、AI が自分で進化出来るようになると人間が働く場所が減ってしまい、さらには AI が人間を支配しそうだと思ったからです。

今日の千葉工業大学の見学はとても楽しかったです。文弥様、目良様、岩下先生、学生の皆様、ありがとうございました。

## 1年生 T.Iさん

本日はお忙しい中お時間を割いていただきありがとうございました。今回の説明の中で一番印象に残っていることは研究室の研究内容です。まず一つ目は、プラスチックを作っている研究室(環境有機材料化学研究室)です。今世界中で使用され、分解出来ないと問題となっている「プラスチック」の研究室と言われると、自然と興味が湧いてきました。二つ目は、セラミックスと起泡剤を用いて骨の代用品を作れるようにしている研究室(生体機能材料化学研究室)です。再生医療が発達してきている世の中では体への適合性の高い代替品が必要とされています。現在は代替品を作るのに時間がかかってしましますが、物理的に人工的に作れるとなるともっと再生医療が発達すると思ったので、とても興味が湧きました。私は今回、応用化学と生命化学の説明を受けさせていただきました。そこで学んだことは、応用化学はモノのプロセスを学び考え、「化学で未来をひらく」という学部学科で、生命化学は「いのちから世界をのぞく」学部学科であるということです。工業大学のイメージというと工学系しか無いような勝手なイメージを持っていました。しかし、今回の説明を受講して、工業大学といっても発展的に生命科学や社会ビジネスに繋がっていく学部学科もあり、工学だけでは無いと学ぶことが出来ました。私の中での工業大学のイメージがガラッと変わりました。様々な発展があることで、様々な道がひらけていくのだと学べました。本日は本当にありがとうございました。